

## 令和元年度 11 月定例教育委員会議事録

### 【日時】

令和元年 11 月 20 日（水）

開会 午後 1 時 30 分

閉会 午後 4 時 35 分

### 【会場】

辰野町町民会館 104 学習室

### 【出席者】

10 名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤	和徳
教育長代理	根橋	久人
教育委員	垣内	由佳
教育委員	関	政彦
教育委員	萩原	多恵子

（事務局関係）

生涯学習課長	西原	功
こども課長	加藤	恒男
こども課長補佐		
兼学校教育係長	桑原	さゆり
こども支援係長	入原	百合
学校教育係	向山	倅生

### 【傍聴者】

2 名

## 【次第】

### 1 議事

- (1) 【非公開】 就学の判断について
- (2) 【非公開】 準要保護の認定について

### 2 協議

- (1) 【非公開】 学校・保育園の様子及び運営上の諸課題
- (2) 全国学力学習状況調査の結果から
- (3) 令和2年度小・中学校の教育課程
- (4) 社会教育委員との懇談会【12/20(金)】
- (5) 町内小・中学校の来年度の構想および教職員の人事異動
- (6) 辰野町における「副学籍」に係わる事務処理について
- (7) 自然災害時における保育園のあり方

### 3 報告事項

- (1) 11月の市町村教育委員会連絡協議会報告
- (2) その他

## ○開会

### 1 開会の言葉

### 2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

### 3 議事録の承認

- ・承認。

### 4 宮澤教育長挨拶

早いもので11月も下旬に入り、いよいよ寒さも加わってきました。9月、10月と、長引く秋雨前線と、相次いで襲来した大型台風の影響で、爽やかな秋晴れはあまり望めませんでした。11月に入り、ようやく安定し、小春日和の日が続いています。しかし、すでにインフルエンザの流行期に入ったとの報道もあります。お互いに体には十分に気をつけていきたいと思えます。

さて、10月から11月にかけて、町内小学校では、マラソン大会が開催されました。西小は天気の関係でまだ実施されていませんが、開催された小学校では、地域のボランティアの方やPTA・保護者の支援や声援をいただき、学校周辺や学区を元気に走りました。中学校では、ど真ん中町のど真ん中山である大城山、標高差530m、距離にして約18kmを走るというとんでもない行事も、PTAの全面的な協力の下で開催されました。事前の山道の整備や豚汁の提供などを考えますと、他ではまず実施することが困難な行事の一つと言えます。それができている辰野町、改めて地域に支えられている学校を実感しました。

11月1日には東小学校、16日には南小学校で、全学年・全学級での英語の授業の公開がありました。新しい学習指導要領では、3年生から英語活動が始まり、1、2年生は定められてはいません。しかし、保育園で英語遊びを行ってきた子どもがすでに入学を始めてから2年が経ちました。保育園で英語と触れ合っている子どもが小学校に入って2年間、英語と関わらないことは、大変勿体ないことです。そこで1年生から、町独自で英語遊びをしようということになり、町校長会の賛同を得て実施に踏み切りました。

担任が授業を行うことを基本とし、楽しい英語遊びにしたい、が大原則です。

当日は、町長・副町長にも参加いただきました。今年度、エアコンと共に、多額の財政出動の元に整備したICT機器、大型提示装置、いわゆる電子黒板をフルに活用し、実に楽しく、1、2年生も嬉々として食いついて取り組み、担任も笑顔で、自信ありげに指導に当たり、保護者も大変満足していました。町長・副町長も、I

CT機器を効果的に、積極的に活用している様子や子どもたちの食いつく姿に甚く感動していました。

来年度から、町単独の英語の先生を1名確保するために面接試験・模擬授業試験を行い、8名の応募の中から1名を決めさせていただきました。実により先生を確保できましたので、来年度が楽しみです。

このように、小学校・中学校とも、よい教育活動が成されています。ありがたいことです。

この間、教育委員の皆さんには、社会教育関係者懇談会、子どもが育つネットワーク委員会等、大変ありがとうございました。

教育委員会関係の定期監査も昨日までで、無事終了いたしました。

今日の教育委員会ですが、議事として、就学の判断、準要保護の認定、協議として、全国学力学習状況調査の結果、小中学校の来年度の構想と人事異動、12月の社会教育委員との懇談等となりますが、よろしく申し上げます。

## 5 議事

### (1) 【非公開】就学の判断について

- ・入原こども支援係長より説明。  
承認。

### (2) 【非公開】準要保護の認定について

- ・桑原こども課長補佐より説明。  
認定。

## 6 協議

### (1) 【非公開】学校・保育園の様子及び運営上の諸課題

- ・宮澤教育長より説明。

### (2) 全国学力学習状況調査の結果から

- ・宮澤教育長より説明。

<教育委員>

今回の結果を見させていただいて、なぜ中学校で今年度は去年と比べて、自分で考え、自分から取り組んだという項目が下がってしまったのか。

<宮澤教育長>

よく陥る危険性なのですけれど、去年はこうだったけど今年はこうだったという比較は、全国学力学習状況調査ではあまりできない。受けている子どもが違い

ます。

<教育委員>

小学校での6年間で中学校でも影響してしまうということが考えられますか。

<宮澤教育長>

それもあると思います。

<教育委員>

結果を見まして、平成28年の小6のデータと令和元年の中3のデータを比較すると経年変化が分かります。今、教育長の仰られていたことが数字に出ていると思います。教科によって成績の差もかなり出てしまっているところがあります。

<宮澤教育長>

この成績の分析をして、これを元に3学期からどういう取組みをするのかを示した家庭通知が学校から配布されていくようになります。全国学力学習状況調査では、児童生徒、一人ひとりに個票が来ます。どこが得意で、どこが不十分、どんなことをしていけばいいのか等、詳しく分析された個票が来ますので、懇談会で先生と確認することになると思います。

<教育委員>

自分の子どもの成績がどうかということは、もちろん気になるのですが、学校や町という単位で全国と比べてどうなのかというところは、自分が子どもを育てている中で考えたことがなかったです。自分の子どもがこの一端を成しているのかということを考えている親御さんはどのくらいいるのかなと思います。個票をいただいて、自分の子どもに何が出来るのかということを考えることはできるのですが、クラス全体のレベルが上がるようにという考えは及んでいなかったです。

<教育委員>

先日、中学の校長先生からお話があって、数学に関してはせっかく良いものがあるのに先生たちが上手く活かしていないところが課題になっているようなので、それを先生たちにもご尽力いただいて子どもたちに反映されれば、成績も変わってくるのかなと思います。

<宮澤教育長>

家庭での課題も中身を検討していかないといけないと思います。以前の全国学力学習状況調査とかだったら良かったかもしれませんが、これからの新しい学習指導要領で求められている学力を付けていくことを考えますと、生徒に課す課題そのものを変えていかないといけないと思います。

(3) 令和2年度小・中学校の教育課程

・宮澤教育長より説明。

各学校の教育課程の重点、主要課題等について

保育園・小学校における外国語活動について

プログラミング教育について

上記についての内容を確認。

<加藤こども課長>

東小学校と南小学校の英語の公開授業をそれぞれ見させていただきました。いくつか感じたことがあります。まずは、各先生方の専門教科ではないのですが、かなり堪能な先生もいらっしゃいました。ほとんど授業の間、英語で説明されている先生もいてすごいなと思いました。それから、子どもたちへの英語の教え方です。私の頃の英語は教科書を見てやるという感じでしたが、今の小学校では基本的には歌があつたり踊りがあつたりゲームがあつたりということをやっています。楽しさもあるのですが、まずは自分の自己紹介など、日常生活で使える英語から勉強しています。なるべく日常に合わせて英語をやるのが非常に効果があると思います。そういった中で、各学年をだんだん見ていったのですが、1年生はゲームをやっていてどんどん子どもたちの方から発言をして単語をあげていました。6年生くらいになると英会話の授業になっていました。

また、それを実現させるためにICTを先生方がどんどん活用していました。ネイティブな発音もあると思います。ICTの電子黒板を使いますと、そこにネイティブな英語や映像が流れて、スペル等も出てくるので自然に英語が入ってくるなど実感しました。これからがまた楽しみだなと思いました。

<教育委員>

南小学校の公開授業に伺わせていただきました。全部の学年を拝見して、課長さんが仰っていたように、電子黒板を使って授業をしていて、ただ楽しそうでした。6年生もゲーム性のあるようなことをしていて、私たちの子ども頃とは考えられないような英語の馴染み方でした。とても楽しく拝見させていただきました。

<宮澤教育長>

周りの保護者の方の声はどうでしたか。

<教育委員>

興味を持ってこれからどういうふうになっていくのかを心配している親御さんが見に来ていました。子どもがついていけなくなったらどうしようとか、塾に行かせた方が良いのかなとか心配している親御さんが結構いました。これからまた、英語の授業が難しくなっていくのかを心配して、英語を習わせるかどうかの会話はたくさんありました。

<宮澤教育長>

英語を学ぶことを通して、改めて日本語の美しさや日本文化の良さというものを理解させていくことも大事だと思います。食べることに関しては、日本は感謝というところが前面に出るのですが、英語圏にはそういう気持ちがないです。だから、「いただきます」、「ごちそうさまでした」を英語にすることはできないわけです。そういった部分からも日本語の美しさや日本文化の良さを学んでいただければと思います。

(4) 社会教育委員との懇談会【12/20(金)】

・宮澤教育長より説明。

全国学力学習状況調査結果に見る町内小・中学校の実態  
辰野町の子育て・教育環境整備の充実および今日的な課題 等  
上記のことについて懇談することを確認。

(5) 町内小・中学校の来年度の構想および教職員の人事異動

・宮澤教育長より説明。

(6) 辰野町における「副学籍」に係わる事務処理について

・宮澤教育長より説明。

辰野町副学籍による交流及び共同学習実施要領について、副学籍児童生徒への副学籍校での事務取り扱いについての内容を確認。

(7) 自然災害時における保育園のあり方

・宮澤教育長より説明。

自然災害時においては、今後休園することも検討していくことを確認。

## 7 報告事項

### (1) 11月の市町村教育委員会連絡協議会報告

- ・宮澤教育長より協議内容を報告。  
非違行為根絶について、体罰防止について、学校運営について、人事について協議したと報告。

### (2) その他

- ・向山学校教育係員より町内小中学校の紹介用パンフレットについて報告。  
町内小中学校の特色ある活動や魅力を幅広く発信していくために、紹介用パンフレットを作成したことを報告。
- ・加藤こども課長よりホイッスルバトンの寄贈について報告。  
辰野町交通安全協会よりホイッスルバトンを60本寄贈していただいたこと、町内幼稚園、保育園、小学校に配布し活用していただくことを報告。

## 8 閉会